

かな ざわ し つ なみ ひ なん ち ず

金沢市 津波 避難地図

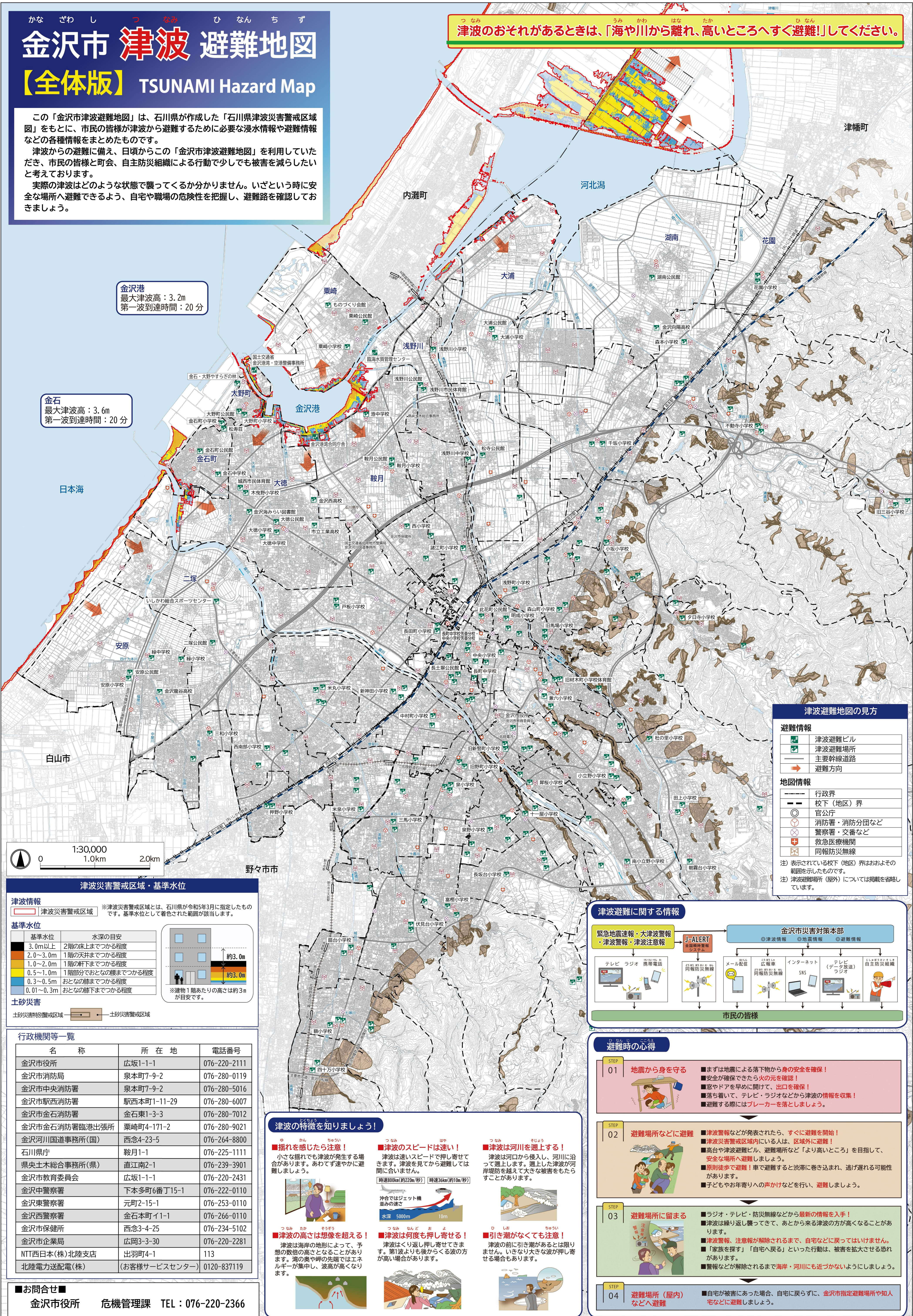
【全体版】TSUNAMI Hazard Map

この「金沢市津波避難地図」は、石川県が作成した「石川県津波災害警戒区域図」をもとに、市民の皆様が津波から避難するために必要な浸水情報や避難情報などの各種情報をまとめたものです。

津波からの避難に備え、日頃からこの「金沢市津波避難地図」を利用していただき、市民の皆様と町会、自主防災組織による行動で少しでも被害を減らしたいと考えております。

実際の津波はどのような状態で襲ってくるかわかりません。いざという時に安全な場所へ避難できるよう、自宅や職場の危険性を把握し、避難路を確認しておきましょう。

津波のおそれがあるときは、「海や川から離れ、高いところへすぐ避難!」してください。



金沢港
最大津波高：3.2m
第一波到達時間：20分

金石
最大津波高：3.6m
第一波到達時間：20分

津波避難地図の見方

避難情報	津波避難ビル
津波避難場所	主要幹線道路
避難方向	

地図情報	行政界
校下(地区)界	官公庁
消防署・消防団など	警察署・交番など
救急医療機関	同報防災無線

注) 表示されている校下(地区)界はおおよその範囲を示したものです。
注) 津波避難場所(屋外)については掲載を省略しています。

津波災害警戒区域・基準水位

津波情報	※津波災害警戒区域とは、石川県が令和5年3月に指定したものです。基準水位として着色された範囲が該当します。
基準水位	
基準水位	水深の目安
3.0m以上	2階の床までつかる程度
2.0~3.0m	1階の天井までつかる程度
1.0~2.0m	1階の軒下までつかる程度
0.5~1.0m	1階部分でおよその腰までつかる程度
0.3~0.5m	およその膝までつかる程度
0.01~0.3m	およその膝下までつかる程度

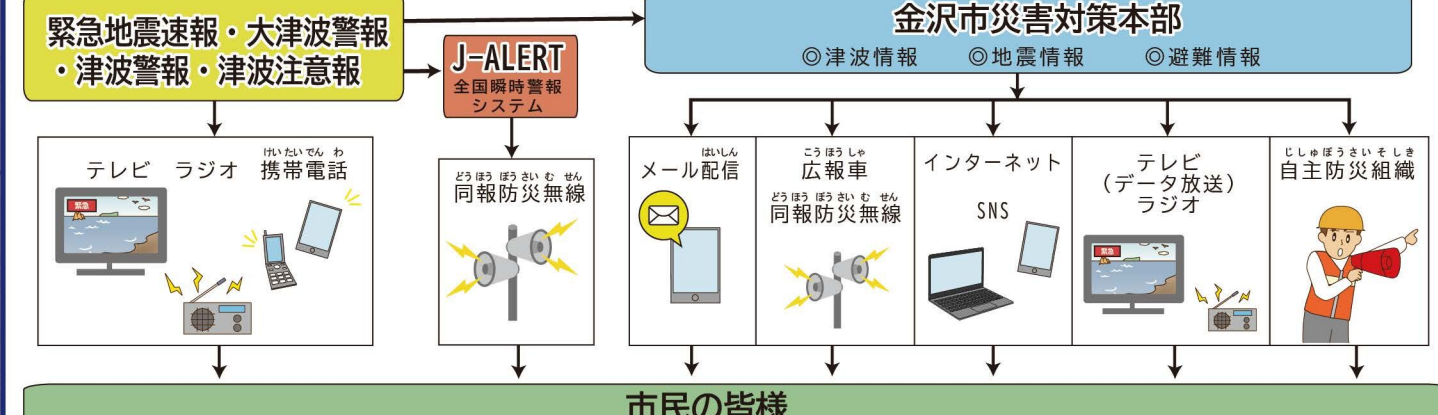
土砂災害
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域

行政機関等一覧

名称	所在地	電話番号
金沢市役所	広坂1-1-1	076-220-2111
金沢市消防局	泉本町7-9-2	076-280-0119
金沢市中央消防署	泉本町7-9-2	076-280-5016
金沢市駅西消防署	駅西本町1-11-29	076-280-6007
金沢市金石消防署	金石東1-3-3	076-280-7012
金沢市金石消防署臨港出張所	栗崎町4-171-2	076-280-9021
金沢河川国道事務所(国)	西念4-23-5	076-264-8800
石川県庁	鞍月1-1	076-225-1111
県土木土総合事務所(県)	直江南2-1	076-239-3901
金沢市教育委員会	広坂1-1-1	076-220-2431
金沢中警察署	下本多町6番丁15-1	076-222-0110
金沢東警察署	元町2-15-1	076-253-0110
金沢西警察署	金石本町1-1-1	076-266-0110
金沢市保健所	西念3-4-25	076-234-5102
金沢市企業局	広岡3-3-30	076-220-2281
NTT西日本(株)北陸支店	出羽町4-1	113
北陸電力送配電(株)	(お客様サービスセンター)	0120-837119

■お問合せ■
金沢市役所 危機管理課 TEL: 076-220-2366

津波避難に関する情報



避難時の心得

- STEP 01 地震から身を守る

■まずは地震による落下物から身の安全を確保!
■安全が確保できたら火の元を確認!
■窓やドアを早めに開けて、出口を確認!
■落ち着いて、テレビ・ラジオなどから津波の情報を収集!
■避難する際にはブレーカーを落としましょう。
- STEP 02 避難場所などに避難

■津波警報などが発表されたら、すぐに避難を開始!
■津波災害警戒区域内にいる人は、区域外に避難!
■高台や津波避難ビル、避難場所など「より高いところ」を目指して、安全な場所へ避難しましょう。
■原則徒歩で避難! 車で避難すると渋滞に巻き込まれ、逃げ遅れる可能性があります。
■子どもやお年寄りへの声かけなどを行い、避難しましょう。
- STEP 03 避難場所に留まる

■ラジオ・テレビ・防災無線などから最新の情報を入手!
■津波は繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が高くなる可能性があります。
■津波警報、注意報が解除されるまで、自宅などに戻ってはいけません。
■「家族を探す」「自宅へ戻る」といった行動は、被害を拡大させる恐れがあります。
■警報などが解除されるまで海岸・河川にも近づかないようにしましょう。
- STEP 04 避難場所(屋内)などへ避難

■自宅が被害にあった場合、自宅に戻らずに、金沢市指定避難場所や知人宅などに避難しましょう。

津波の特徴を知りましょう!

- 揺れを感じたら注意!

小さな揺れでも津波が発生する場合があります。あわてず速やかに避難しましょう。
- 津波のスピードは速い!

津波は速いスピードで押し寄せてきます。津波を見てから避難しては間に合いません。
(時速800km(約220m/秒)) (時速36km(約10m/秒))
- 津波の高さは想像を超える!

津波は海岸の地形によって、予想の数倍の高さとなる場合があります。波の奥や岬の先端ではエネルギーが集中し、波高が高くなります。
- 津波は何度も押し寄せてきます!

津波はくり返し押し寄せてきます。第1波よりも後からくる波の方が高い場合があります。
- 津波は河川を遡上する!

津波は河口から侵入し、河川に沿って遡上します。遡上した津波が河岸堤防を越えて大きな被害をもたらすことがあります。
- 引き潮がなくても注意!

津波の前に引き潮があるとは限りません。いきなり大きな波が押し寄せる場合もあります。